ＶＲ（バーチャルリアリティ）認知症体験会

下條村では地域での『見守りネットワーク』を開始することとなりました。ネットワーク開始の記念事業として、認知症を学ぶ体験会を開催します。『ＶＲ認知症体験会』です。

認知症による幻覚や幻視、問題行動などで自宅での生活や介護が難しくなる家族も本人も追い詰められていく・・・という状況になる事があります。

そうなる前に、認知症の方ご本人の周りの方が出来ることがあるかもしれない。認知症をお持ちの方ご本人の気持ちがわかれば、接し方も変わるかもしれない。接し方が変わればご本人も家族も穏やかに過ごすことが出来るかもしれない。

穏やかに過ごすことが出来れば自宅でずっと暮らせるかもしれません。

認知症は特別な病気ではありません。誰もがなる可能性のある病気です。でも何もわからなくなるわけではありません。

この体験会を通じて認知症になった方の思いを体験してみませんか？

記

１．開催日　　平成３１年３月２９日（金）１９：００～２０：３０まで

２．開催場所　　下條村コスモホール　披露宴会場

３・お申込み　　平成３１年３月１５日（金）までに、下記の申込書に記入の上、
いきいきらんど下條までお申し込みください。
※先着５０名とさせていただきます。

４．問い合わせ　いきいきらんど下條：電話２７－１２３１（担当：齋藤）

ＶＲ認知症体験会参加申込書（平成３１年３月２９日開催）ＦＡＸ：２７－１２２８

地　区　名	申込者氏名	連絡先電話番号

ＶR認知症とは･･･

認知症ではない人が、バーチャルリアリティ（VR）の技術を活用し、認知症の中核症状を体験するものです。認知症を文字で学ぶのではなく、その症状を自分ごととして体験することを通じて社会に広まっている認知症に対する誤った理解や偏見を溶かしていくことを目的としたプロジェクトです。認知症の症状は「単なる物忘れ」だけでは無いのです。

VR認知症体験会　体験者の声

- 認知症については、全て理解しているつもりでいたが、上から目線だったのかもしれない。“症状”を見て“ご本人”を見ていなかったのかもしれない。（認知症専門医）
- 今まで受けてきた講義とは全く違う理解の仕方で驚いた。VR 体験の力に大変驚かされた。（認知症認定看護師）
- 認知症の方の気持ちを理解し寄り添いたいとずっと思って来たがなかなかできなくて苦しんでいた。体験を通じてこれから自分がどうしていけばいいのかやっとわかった気がして涙が出た。（介護職）
- 10 年前にこの体験ができていたら自分の母親に対する介護が変わっていたかもしれない。今介護をしている家族に見てほしい。　（介護家族）
- 認知症に対して「大きな負」のイメージしかなかったが、体験を通じて負のイメージがなくなった。（大学生）
- 専門書を 100 冊読むより勉強になった（医学部５年生）
- 現在レビー小体型認知症の父親の介護中だが、今日から少し優しく接することができるのではないかと思った。（介護家族）
- ニュースや口コミで内容を知っていたが、百聞は一見にしかず。体験して驚いた。VR の技術もすごかった。（医療専門職）